

今週の富大生

Weekly TOMIDASEI

第34号

工学部 工学科
知能情報工学コース 2年
大阪府立槻の木高等学校
(大阪府)

勉強も課外活動も、
自分から動く



放送業界への憧れ

小学校の時に放送委員会というのがあって、音楽をかけたり校内放送で声が流れることに憧れを持っていました。高校進学の際に放送部の活動実績があり、国公立の大学へ進学できる高校に入りました。元々朗読に興味があったのですが、高校入学後すぐに番組部門をやってほしいと顧問の先生に言われました。ドラマを作ったらその工程が楽しく、いつかディレクターになって番組を作りたい!と思うようになりました。

大学では勉強とサークル活動に注力

幼いころからPCを使うことが得意でした。大学では工学、中でも情報工学関係の分野の理解を深めたいと考えました。「国公立」「情報工学が学べる」ということを軸に大学選びをしました。高校生の時からの「ディレクターになってテレビ番組を創りたい」という思いは、今も変わっていません。いつか年配の方も幼い子供も情報のデバイス格差がなくなるような番組を作りたいと思っています。大学の課外活動では放送研究会のサークルに所属しています。ドラマの撮影、監督をやることもあれば、出演、脚本、編集、なんでもやります。アルバイトではテレビ局でカメラアシスタントをしています。学内外で将来のための経験を積んでいます。勉強と将来の夢に向かうことをバランスよく頑張りたいと思って選択した今の生活は、とても充実しています!

「富大生動画コンテスト」初代準グランプリ

昨年からはまった「富大生動画コンテスト」では、最優秀賞を目指して工学部を紹介する動画『「夢大学」工学部紹介し隊』を制作しました。結果は優秀賞でした。現在は、来年度の新入生向けの5分ドラマの監督として、番組作りに取り組んでいます。

少人数の中で輝ける場所

富山は地域の人との距離が近く、大人数の中に埋もれず少人数で語り合うことができるのが魅力です。例えば、学部単位の企業説明会も多く、興味を持った仕事について詳細に知ることができ、企業の人とも関係が密なのが良いです。



わからないことは理解できるまで聞く

1年次は教養の講義が多く、高校で苦手だった文系科目も楽しく学ぶことができました。2年次からは専門の講義が増え、簡単には理解できないことが増えてきました。私はわからないことがあれば講義が終わったタイミングで先生に必ず質問するようにしています。メールで質問することも可能ですが、実際に会ってその場で理解できるまで聞くことを大切にしています。よく質問に行くので、興味がわいた研究室の先生に、聴することとなる積極的に聞きに行くことができます。大学の勉強は自ら動いていくことが大切だと強く感じています。

富大生動画コンテスト
受賞作品はこちらから

